

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24583報)

2023年 4月 4日 15時00分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)、 プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [4月4日11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等 分析結果 [採取日 2022年10月21日、2022年11月14日、2022年11月18日、2022年12月16日、2023年4月3日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月3日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 4月3日]</li> <li>・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 3月17日~3月23日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 3月30日、4月3日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日3月20日、4月3日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> <li>・4月4日の高濃度滞留水の移送実績は以下の通りです。 共用サブプレッションプール水サージタンク(A)→集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋 移送開始: 10時53分 移送終了: 11時56分 移送量: 約45m<sup>3</sup></li> </ul> <p>地下水バイパス一時貯留タンクグループGr3の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、4月5日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水バイパス一時貯留タンク水 排水前分析結果 [採取日 3月31日]</li> </ul> <p>【公表区分: その他】、</p> <p>※添付の(有)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ  
 2023年4月4日 11:00現在

2023年4月4日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一原子力発電所

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系 : 2.6 m <sup>3</sup> /h CS系 : 1.4 m <sup>3</sup> /h	給水系 : 0.0 m <sup>3</sup> /h CS系 : 1.6 m <sup>3</sup> /h	給水系 : 1.5 m <sup>3</sup> /h CS系 : 2.1 m <sup>3</sup> /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 15.9 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 14.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 15.3 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 24.1 °C RPV温度 (TE-2-3-69R) : 26.2 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 19.7 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 17.3 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 15.3 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 15.2 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 24.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 24.5 °C	PCV温度 (TE-16-002) : 16.8 °C 格納容器空調機排気温度 (TE-16-114F#1) : 17.7 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.36 kPa g	4.03 kPa g	0.47 kPa g	
窒素吸入流量 ※3	RPV (RVH-A) : - Nm <sup>3</sup> /h (RVH-B) : 15.49 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A) : 15.39 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B) : - Nm <sup>3</sup> /h PCV : - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A : 6.60 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B : 6.52 Nm <sup>3</sup> /h PCV : - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A : 8.41 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B : 7.75 Nm <sup>3</sup> /h PCV : - Nm <sup>3</sup> /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 非気量	19.9 m <sup>3</sup> /h	15.88 Nm <sup>3</sup> /h	21.79 Nm <sup>3</sup> /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系 : 0.00 vol% B系 : 0.00 vol%	A系 : 0.05 vol% B系 : 0.07 vol%	A系 : 0.09 vol% B系 : 0.08 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系 : 指示値 検出限界値 : 8.45E-04 Bq/cm <sup>3</sup> B系 : 指示値 検出限界値 : 4.33E-04 Bq/cm <sup>3</sup> 1.42E-03 Bq/cm <sup>3</sup> 3.25E-04 Bq/cm <sup>3</sup>	A系 : 指示値 検出限界値 : 1.2E-01 Bq/cm <sup>3</sup> B系 : 指示値 検出限界値 : 1.2E-01 Bq/cm <sup>3</sup>	A系 : 指示値 検出限界値 : 1.9E-01 Bq/cm <sup>3</sup> B系 : 指示値 検出限界値 : 1.9E-01 Bq/cm <sup>3</sup>	
使用済燃料プール 水温度	17.9 °C	- °C ※6	- °C ※5	
FPC 貯留タンク 水位	3.40 m	- m ※6	2.76 m	67.3 X100mm

【注】欄に該当する参照  
 ※1 : 指示値が2.0 (又は) 0.00 vol%未満の場合、(※2)欄の検出限界値と同等とする。  
 ※2 : 放射能濃度の単位はBq/cm<sup>3</sup>とする。測定値が検出限界値未満の場合、(※1)欄の検出限界値と同等とする。  
 ※3 : 窒素吸入流量は、圧力で流量測定した値とする。原子炉格納容器ガス管理システム(Da135)を参照する。  
 ※4 : 窒素吸入流量は、圧力で流量測定した値とする。  
 ※5 : 貯留タンク水位は、貯留タンク水位計の指示値を参照する。  
 ※6 : 貯留タンク水位は、貯留タンク水位計の指示値を参照する。

【重要事項】  
 本計測値については、検査やその他の事象による影響を察して、異常の発生を察知し、異常発生時の対応を指示する。また、異常発生時の対応を指示する。また、異常発生時の対応を指示する。また、異常発生時の対応を指示する。

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### サブドレン等 分析結果 (Pu)

採取地点	採取日時	分析項目	
		Pu-238 (Bq/L)	Pu-239+240 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/10/21 07:21	< 5.7E-04	< 6.2E-04
2号機サブドレン	2022/10/21 07:40	< 5.4E-04	< 6.0E-04
	2022/11/18 06:53	< 5.7E-04	< 5.3E-04
	2022/12/16 06:46	< 5.9E-04	< 5.9E-04
3号機サブドレン	2022/11/14 06:51	< 5.7E-04	< 5.3E-04
4号機サブドレン	2022/12/16 07:30	< 6.4E-04	< 6.4E-04
5号機サブドレン	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—
構内深井戸	—	—	—

・核種の半減期：Pu-238(約88年)、Pu-239(約24000年)、Pu-240(約6600年)

・不等号 (<)：小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・分析機関：株式会社 化研

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

## サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2023/04/03 07:02	< 4.2E+00	< 4.6E+00	8.6E+01
2号機サブドレン	2023/04/03 07:10	< 1.4E+01	4.3E+01	2.5E+03
3号機サブドレン	2023/04/03 07:20	< 4.8E+00	< 5.0E+00	< 5.5E+00
4号機サブドレン	2023/04/03 07:25	< 5.5E+00	< 4.2E+00	< 3.7E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
槽内深井戸	—	—	—	—

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

5/14

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/04/03 07:25	< 5.5E+00	< 4.2E+00	< 3.7E+00
プロセス主建屋北東	2023/04/03 07:35	< 4.2E+00	< 3.9E+00	< 3.8E+00
プロセス主建屋南東	2023/04/03 07:39	< 5.4E+00	< 5.5E+00	< 4.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/04/03 07:59	< 4.9E+00	< 5.0E+00	< 4.9E+00
サイトバンカ建屋南西	2023/04/03 07:47	< 4.7E+00	< 5.1E+00	< 3.8E+00
焼却工作建屋西側	2023/04/03 07:55	< 4.6E+00	< 5.1E+00	3.2E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/04/03 07:51	< 4.5E+00	< 4.2E+00	< 3.7E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/04/03 07:43	< 4.1E+00	< 5.1E+00	< 4.6E+00

- ・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<、小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O、OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。  
(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。
- ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/04/03 07:33	3.8E+00	< 6.3E-01	2.0E+00
物揚場排水路	2023/04/03 07:43	< 3.1E+00	< 5.8E-01	9.7E-01
K排水路	2023/04/03 06:00	6.5E+00	< 5.2E-01	3.9E+00
BC排水路	2023/04/03 06:00	< 3.3E+00	< 5.5E-01	< 5.8E-01
D排水路	2023/04/03 07:38	< 3.1E+00	< 7.5E-01	< 6.3E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10<sup>0</sup>であることを意味する。  
(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

7/14

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m <sup>3</sup> /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/03/17 07:21	0.0	0.001	< 3.4E+00	—	< 5.5E-01	1.2E+00
	2023/03/18 08:15	29.5	0.054	7.2E+00	—	< 4.4E-01	3.5E+00
	2023/03/19 07:20	0.0	0.002	3.9E+00	—	< 4.1E-01	1.2E+00
	2023/03/20 07:14	0.0	0.002	5.5E+00	—	< 6.0E-01	1.4E+00
	2023/03/21 07:25	0.0	0.002	5.0E+00	—	< 3.6E-01	1.4E+00
	2023/03/22 07:00	0.0	0.001	5.4E+00	< 8.0E+00	< 6.6E-01	1.6E+00
	2023/03/23 07:22	7.0	0.002	4.5E+00	—	< 6.7E-01	2.0E+00
物揚場排水路	2023/03/17 07:16	0.0	0.005	< 3.4E+00	—	< 3.5E-01	< 5.4E-01
	2023/03/18 08:25	29.5	0.038	9.5E+00	—	< 6.6E-01	6.7E+00
	2023/03/19 07:30	0.0	0.005	4.8E+00	—	< 6.6E-01	2.1E+00
	2023/03/20 07:09	0.0	0.005	< 3.5E+00	—	< 5.1E-01	1.0E+00
	2023/03/21 07:33	0.0	0.005	< 3.0E+00	—	< 5.8E-01	7.8E-01
	2023/03/22 07:10	0.0	0.005	< 2.9E+00	< 7.9E+00	< 6.2E-01	< 7.0E-01
	2023/03/23 07:17	7.0	0.005	< 2.7E+00	—	< 4.4E-01	6.4E-01
K排水路	2023/03/17 06:00	0.0	0.008	4.9E+00	—	< 6.6E-01	3.0E+00
	2023/03/18 06:00	29.5	0.038	2.6E+01	—	< 7.4E-01	2.1E+01
	2023/03/19 06:00	0.0	0.012	2.3E+01	—	< 4.2E-01	2.0E+01
	2023/03/20 06:00	0.0	0.010	1.3E+01	—	< 5.9E-01	7.3E+00
	2023/03/21 06:00	0.0	0.009	6.9E+00	—	< 5.9E-01	4.3E+00
	2023/03/22 06:00	0.0	0.009	6.9E+00	1.0E+02	< 7.0E-01	4.7E+00
	2023/03/23 06:00	7.0	0.008	5.4E+00	—	< 6.2E-01	4.3E+00
BC排水路	2023/03/17 06:00	0.0	0.011	< 3.5E+00	—	< 5.5E-01	< 5.5E-01
	2023/03/18 06:00	29.5	0.262	< 3.5E+00	—	< 4.4E-01	< 5.0E-01
	2023/03/19 06:00	0.0	0.015	4.9E+00	—	< 5.6E-01	< 5.1E-01
	2023/03/20 06:00	0.0	0.011	< 3.6E+00	—	< 7.0E-01	< 6.5E-01
	2023/03/21 06:00	0.0	0.011	< 3.5E+00	—	< 6.3E-01	< 5.7E-01
	2023/03/22 06:00	0.0	0.012	< 3.4E+00	< 7.9E+00	< 5.0E-01	< 7.4E-01
	2023/03/23 06:00	7.0	0.009	< 4.1E+00	—	< 5.2E-01	< 5.6E-01
D排水路	2023/03/17 07:24	0.0	0.012	< 3.4E+00	—	< 6.1E-01	< 7.1E-01
	2023/03/18 08:20	29.5	0.119	< 3.3E+00	—	< 7.5E-01	3.2E+00
	2023/03/19 07:25	0.0	0.017	< 2.6E+00	—	< 7.0E-01	< 7.2E-01
	2023/03/20 07:17	0.0	0.015	< 3.5E+00	—	< 5.2E-01	< 5.1E-01
	2023/03/21 07:30	0.0	0.012	< 3.0E+00	—	< 5.8E-01	< 6.5E-01
	2023/03/22 07:05	0.0	0.013	< 2.9E+00	< 7.8E+00	< 5.6E-01	< 5.4E-01
	2023/03/23 07:25	7.0	0.010	< 2.7E+00	—	< 7.3E-01	< 6.7E-01
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)  
 ・不符号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。  
 ・○.○E±○とは、○.○×10<sup>±○</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。  
 ・流量以外は既にお知らせ済み。

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)		
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他観測出図線				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2023/03/30 08:00	3.4E+01	8.1E+03	< 1.9E-01	< 2.7E-01	< 2.4E+00	< 7.4E-01	< 2.6E-01	1.3E+00	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検測時の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約15年)、Sr-125(約70日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)。

・不検号 (<)：小検出は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E+0とは、0.0×10<sup>0</sup>であることを意味する。

例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・H-3以外は概ねお判り出済み。

※1 No.1-9は、検水筒による誤差であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての値に測定。



9/14

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その他放射性核種				塩素			
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
1,2号観測ポイント 汲み上げ水											
No.2	2023/03/30 07:15	2.3E+02	1.6E+02	< 3.0E-01	< 3.7E-01	< 3.0E+00	< 1.3E+00	< 3.9E-01	4.2E+00		
No.2-2	2023/03/30 07:45	1.7E+02	2.6E+02	< 1.4E+00	< 2.2E+00	< 1.5E+01	< 7.4E+00	< 2.0E+00	5.3E+01		
No.2-3	2023/03/30 07:50	3.0E+04	3.3E+03	< 3.7E-01	< 4.1E-01	< 4.0E+00	< 1.4E+00	< 4.1E-01	4.0E+00		
No.2-5 ※2											
No.2-6											
No.2-7											
No.2-8	2023/03/30 07:10	4.3E+03	4.9E+02	< 1.8E-01	< 2.6E-01	< 2.3E+00	< 8.4E-01	< 2.6E-01	1.2E+00		
2,3号観測ポイント 汲み上げ水											
No.3	2023/03/30 07:05	2.9E+02	2.3E+03	< 3.5E-01	< 3.7E-01	< 3.3E+00	< 1.3E+00	< 3.7E-01	2.7E+00		
No.3-2	2023/03/30 07:35	6.7E+02	6.6E+02	< 1.4E+00	< 2.2E+00	< 1.4E+01	< 5.2E+00	< 2.0E+00	6.2E+00		
No.3-3	2023/03/30 07:40	1.4E+03	1.8E+03	< 4.2E+00	< 6.6E+00	< 4.0E+01	< 1.9E+01	< 4.3E+00	1.7E+02		
No.3-4	2023/03/30 07:00	1.3E+01	3.2E+02	< 1.0E+00	< 1.1E+00	< 1.1E+01	< 3.1E+00	< 1.3E+00	4.0E+00		
No.3-5 ※2	2023/03/30 06:55	1.5E+02	< 1.1E+02							2.3E+02	
3,4号観測ポイント 汲み上げ水											

・核種の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約29年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<)：小検出

・測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

・0.0E+0とは、0.0x10<sup>0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1x10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1x10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・H-3以外は誤差範囲と見做す。

※2 No.2-5、No.3-5は、検出器による検出であるため、Y値は実値せず。全βは参考値として示す。

10/14

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	その他核種除出処理					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)	
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)					
No.0-1	2023/04/03 07:10	1.2E+02	< 1.9E+00	< 2.2E+00	< 1.6E+01	< 6.3E+00	< 1.7E+00	2.2E+01	-		
No.0-1-2	2023/04/03 07:15	< 1.3E+01	< 2.4E-01	< 2.5E-01	< 3.1E+00	< 8.2E-01	< 2.0E-01	3.1E+00	-		
No.0-2	2023/04/03 06:52	< 1.3E+01	< 3.6E-01	< 3.3E-01	< 3.7E+00	< 2.1E+00	< 6.0E-01	3.6E+00	-		
No.0-3-1	2023/04/03 07:20	< 1.3E+01	< 3.4E-01	< 4.6E-01	< 3.6E+00	< 1.3E+00	< 4.1E-01	1.3E+00	-		
No.0-3-2	2023/04/03 07:25	2.1E+01	< 3.1E-01	< 3.2E-01	< 3.6E+00	< 1.2E+00	< 3.3E-01	1.1E+00	-		
No.0-4	2023/04/03 06:58	1.6E+01	< 2.2E-01	< 2.2E-01	< 2.2E+00	< 8.7E-01	< 4.1E-01	3.6E+00	-		
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-B	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-9 *1	2023/04/03 08:10	2.6E+01	-	-	-	-	-	-	8.5E+01		
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

・検出限の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出 (< 小総り) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と表す。

※1 No.1-9は、観測による検出があるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてγ測定に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 偏差 (ppm)
		全β (Bq/L)	Min-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	その他放射性核種	塩素			
1,2号溝フェルサイト 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2023/04/03 07:45	2.0E+02	< 1.9E-01	< 2.2E-01	< 2.3E+00	< 1.2E+00	< 2.3E-01	< 2.3E-01	3.2E+00	-	-
No.2-2	2023/04/03 08:00	1.5E+02	< 1.5E+00	< 2.2E+00	< 1.7E+01	< 7.0E+00	< 3.4E+00	< 3.4E+00	5.3E+01	-	-
No.2-3	2023/04/03 07:55	1.2E+04	< 3.1E-01	< 4.2E-01	< 3.4E+00	< 1.4E+00	< 3.8E-01	< 3.8E-01	3.4E+00	-	-
No.2-5 *2	2023/04/03 07:40	1.6E+06 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	2023/04/03 07:50	3.3E+02	< 4.0E-01	< 3.6E-01	< 2.7E+00	< 3.3E+00	< 3.4E-01	< 3.4E-01	1.2E+00	-	5.7E+02
No.2-8	2023/04/03 07:35	4.2E+03	< 3.4E-01	< 3.5E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 4.0E-01	< 4.0E-01	1.6E+00	-	-
2,3号溝改修フェル 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 *2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号溝改修フェル 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 検出限の半検出: Min-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

\* 不検出 (<: 小なり) は、検出限界未満 (MD) を表す。

\* 測定対象外および検出限以下の項目は「-」と記す。

\* O.O.E.とは、 $0.0 \times 10^{-10}$  であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は  $3.1 \times 10^{-1}$  で31,  $3.1E+00$ は  $3.1 \times 10^0$  で3.1,  $3.1E-01$ は  $0.31$  と読み、 $3.1E-01$ は  $0.31$  と読み。

\*2 No.2-5, No.3-5は、採取時による採取であるため、Y値は参考値としてのみ掲載している。

\* 測定誤差

「護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)」および「2020年9月31日以前公表資料

「福島第一港湾内、排水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水」で過去に示した値との比較

2023年4月4日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内, 放水口付近&gt; (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/03/20 07:37	1.3E+01	< 3.2E-01	< 8.0E-01	< 7.7E-01
1F 6号機取水口前	2023/03/20 07:27	< 1.4E+01	< 2.5E+00	< 3.0E-01	< 3.1E-01
1F 物揚場前	2023/03/20 07:05	< 1.4E+01	1.9E+00	< 3.8E-01	< 2.8E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/03/20 07:00	1.7E+01	5.6E+00	< 3.5E-01	3.4E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2023/03/20 06:55	< 1.4E+01	3.8E+01	< 3.7E-01	6.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/03/20 08:50	8.1E+00	< 3.3E-01	< 7.9E-01	< 8.8E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/03/20 06:56	< 1.3E+01	6.6E-01	< 3.8E-01	4.5E-01
1F 港湾中央	2023/03/20 06:47	< 1.3E+01	2.7E+00	< 2.7E-01	1.3E+00
1F 港湾内東側	2023/03/20 06:50	< 1.5E+01	< 1.7E+00	< 3.6E-01	< 3.7E-01
1F 港湾内西側	2023/03/20 06:45	< 1.5E+01	1.8E+00	< 3.8E-01	6.0E-01
1F 港湾内北側	2023/03/20 06:42	< 1.5E+01	< 1.7E+00	< 3.6E-01	3.3E-01
1F 港湾内南側	2023/03/20 06:53	< 1.5E+01	< 1.7E+00	< 3.5E-01	< 3.4E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2023/03/20 07:03	1.4E+01	—	< 2.9E-01	< 2.8E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2023/03/20 07:08	1.5E+01	—	< 3.2E-01	< 2.7E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2023/03/20 07:30	1.6E+01	—	< 3.5E-01	< 2.7E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2023/03/20 07:35	1.3E+01	—	< 3.0E-01	< 2.5E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2023/03/20 07:46	1.8E+01	—	< 2.8E-01	< 3.5E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(白報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 海水分析結果<港湾内、放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/04/03 08:46	9.5E+00	< 7.5E-01	< 7.4E-01
1F 6号機取水口前	2023/04/03 07:50	< 1.3E+01	< 3.5E-01	< 4.0E-01
1F 物揚場前	2023/04/03 07:28	< 1.3E+01	< 3.7E-01	< 3.4E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/04/03 07:23	< 1.3E+01	< 3.1E-01	1.7E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2023/04/03 07:18	< 1.3E+01	< 3.2E-01	2.2E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/04/03 07:40	1.3E+01	< 7.5E-01	< 8.8E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/04/03 07:14	< 1.4E+01	< 3.8E-01	< 3.0E-01
1F 港湾中央	2023/04/03 07:05	< 1.4E+01	< 3.5E-01	< 2.6E-01
1F 港湾内東側	2023/04/03 07:08	< 1.4E+01	< 3.5E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内西側	2023/04/03 07:03	< 1.4E+01	< 3.6E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内北側	2023/04/03 07:00	< 1.4E+01	< 2.6E-01	< 2.6E-01
1F 港湾内南側	2023/04/03 07:11	1.5E+01	< 2.7E-01	< 3.0E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2023/04/03 07:22	1.5E+01	< 2.9E-01	< 2.7E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2023/04/03 07:26	< 1.2E+01	< 4.0E-01	< 3.2E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2023/04/03 07:48	1.7E+01	< 3.6E-01	< 3.7E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2023/04/03 07:54	< 1.2E+01	< 3.7E-01	< 3.0E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2023/04/03 08:06	< 1.2E+01	< 3.1E-01	< 2.8E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134、Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

14/14

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 地下水バイパス一時貯留タンク水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目					その他 の検種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
地下水バイパス 一時貯留タンク Gr3 (グループ3)	2023/03/31 07:37	2,020	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 5.9E-01	6.2E+01	< 8.6E-01	< 6.3E-01		検出なし
				< 3.4E-01	6.5E+01	< 6.4E-01	< 5.1E-01		検出なし
	運用目標			5.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
	WHO飲料水水质ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/L以下で分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1-(1/2) 3

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24584報)

2023年 4月 4日 15時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽 i 南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下貯水槽(周辺観測孔)分析結果 [採取日 4月3日]</li> <li>地下貯水槽(ドレン孔・検知孔・海側観測孔)分析結果 [採取日 4月3日]</li> </ul> <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>今後、当該分析結果については、有意な変動がない場合は定時通報にて連絡させていただきます。</p> <p>【公表区分：その他】 分析結果に有意な変動が見られていないことから、公表区分を「D続」から「その他」に変更します。</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2023年4月4日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 地下貯水槽（周辺観測孔）分析結果（全β）

採取地点	採取日時	分析項目
		全β (Bq/L)
地下貯水槽 周辺観測孔 (i ~ iii)	A1	—
	A2	2023/04/03 09:20
	A3	2023/04/03 09:15
	A4	2023/04/03 09:08
	A5	—
	A6	—
	A7	—
	A8	—
	A9	—
	A10	—
	A11	—
	A12	—
	A13	—
	A14	—
	A15	—
	A16	—
	A17	—
	A18	—
	A19	—

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・ $0.0E \pm 0$  とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$  であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$  は  $3.1 \times 10^1$  で 31,  $3.1E+00$  は  $3.1 \times 10^0$  で 3.1,  $3.1E-01$  は  $3.1 \times 10^{-1}$  で 0.31 と読む。



2023年4月4日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 地下貯水槽（ドレン孔・検知孔・海側観測孔）分析結果（全β）

採取地点		採取日時	分析項目
			全β (Bq/L)
地下貯水槽 (ドレン孔水)	i	北東側	—
		南西側	—
	ii	北東側	—
		南西側	—
	iii	北東側	2023/04/03 09:37
		南西側	—
	vi	北西側	—
		南東側	—
地下貯水槽 (漏えい検知孔水)	i	北東側	—
		南西側	—
	ii	北東側	—
		南西側	—
	iii	北東側	—
		南西側	—
海側観測孔	②	2023/04/03 08:50	< 2.4E+01
	⑦	—	—
	⑧	—	—

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・ $0.0E \pm 0$  とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$  であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$  は  $3.1 \times 10^1$  で 31,  $3.1E+00$  は  $3.1 \times 10^0$  で 3.1,  $3.1E-01$  は  $3.1 \times 10^{-1}$  で 0.31 と読む。